機械クラブだより　－第 24 号－

2023（令和 5）年 9 月 1 日

◎　ご挨拶　・・　2

機械クラブ会長　M㉑　玉屋　登

◎　機械工学専攻の近況　・・　2

◎　2023 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 開催報告（2023 年 6 月 3 日）　・・・・・・　3

◎　2023 年度「先輩は語る」講演会 開催報告（2023 年 5 月 10 日）　・・・・・・・・・・　5

「大学の授業内容と設計業務の関わり　～授業内容は仕事の役に立つか？～」

日立 GE ニュークリア・エナジー(株)　　村松　瑛 氏

－ 併催：機械クラブ国際活動奨励賞報告会 －

◎　機械クラブ役員懇親会報告（2023 年 5 月 12 日）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

◎　機械クラブゴルフ同好会（KTCMG）報告

- 第 184 回コンペ報告（2022 年 10 月 14 日）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
- 第 185 回コンペ報告（2023 年 4 月 14 日）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

2023 年機械クラブ年会費納入者名簿（８月 18 日現在の中間報告）　・・・・・・・・　別冊

◆　**機械クラブホームページのご案内（ URL：http://ktcm-kobe.com/ ）**

機械クラブでは活動のようすを会員の皆さまにお伝えするため、ホームページに、各種行事の案内　および開催報告、クラス会報告に加えて、卒業生の方々による寄稿文を掲載しております。また、「機械クラブだより」のバックナンバーもご覧いただけます。神戸大学学歌、神戸高等工業学校校歌、寮歌など、紙面ではお伝えできない情報も充実しております。掲載情報を随時更新しておりますので、ホームページもご覧ください。

◆　**E メールアドレス登録のお願い**

機械クラブの活動状況はホームページでお知らせしています。E メールアドレスを登録いただきますとホームページの更新情報をいち早くご覧いただくことが出来ます。また、KTC からの各種案内もお届けします。この度、機械クラブホームページに「メールアドレス登録・変更」ボタンを設置し、手続きを簡素化しましたので是非ご利用ください。なお、従来通り機械クラブまでご連絡をいただいても結構です（メールアドレス：ktcm@ktcm-kobe.com ）。また、年会費の払込用紙に E メールアドレスを記載して頂いても登録いたします。

◆　**財務部会からのお願い**

年会費は 2000 円です。複数年分（5 年分等、任意期間可）の納入が払込手数料等の経費節約になりますので、できればよろしくお願いします。会計年度は毎年 1 月から 12 月です。

納入方法については別冊をご覧ください。

◆　**2023 年度行事のご案内**

☐　10 月 28 日(土)　神戸大学ホームカミングデイ　中楯龍准教授による講演会を予定
　同時開催：学生フォーミュラ，レスキューロボ活動報告

☐　11 月 11(土), 12 日(日)
　六甲祭　六甲祭協賛講演会は今年度開催せず、ホームカミングデイにおいて講演会を企画しております。

☐　12 月 2 日(土)　第 2 回理事・代表会
　「若手研究者は今」講演会　　上杉晃生 助教による講演を予定

☐　3 月 26 日(火)　総会
　学士・修士 学位記授与式

◆ ご挨拶

機械クラブ会長　M㉑玉屋　登

平素は機械クラブの活動にご理解ご支援・ご協力を頂きありがとうございます。

3月24日に開催しました2022年度機械クラブ総会記念講演会では、オムロン㈱宮田氏から「卒業生に期待する『事業創造とイノベーション活動』」のご講演を頂き、対面出席84名（修了生70名（修士）と総会出席会員14名）と Zoom 参加約 120 名以上（卒業生、教員及び総会出席会員10名）を併せて200名以上で、盛況でした（機械クラブホームページ参照）。

機械クラブ活動に大きな影響を及ぼしたコロナ禍は、2020 年 4 月 7 日の緊急事態宣言から 3 年余りを経過し、本年 3 月マスク着用が任意となり、5月8日にはコロナ感染症が感染症法の2類から5類に変更されました。同時に新型コロナウイルス対応「神戸大学の活動制限指針」は「1」から「0」に変更され「通常」に戻りました。コロナ禍の期間は IT 技術が広く採用され、機械クラブ行事においても対面とリモート Zoom の併用、いわゆるハイブリッド開催が採用され、関東・中部地区から参加した会員から継続して欲しいとの強い要望がありました。

本年度においても、総会、理事・代表会、講演会、座談会などを IT を活用したハイブリッド開催を継続することにしており、遠方からの参加を期待します。

4 月 7 日には機械工学専攻全教員出席のもとに新入生ガイダンスが行われました。出席された 108 名の新入生と 7 名の編入生に機械クラブと KTC を紹介し、現役学生へ次の支援活動を行っていることを説明し、人間力を作る同窓会活動を奨励しました。

- ◆ **「先輩は語る」講演会**（機械工学科との共催、初年次セミナーで実施）
- ◆ **「若手研究者は今」講演会**（機械工学科との共催，若手教員による研究活動の講演）
- ◆ **「六甲祭協賛講演会」**（機械工学科との共催、教授による研究最前線の講演）
- ◆ **学生自主課外活動支援**（「FORTEK」と「六甲おろし」チーム）
- ◆ **「機械技術者生活を語る座談会」**（会員の企業経験談により学生と意見交換する場）
- ◆ **学生表彰**（機械クラブ会長賞と国際活動奨励賞）

また、機械クラブが緊密に連携する KTC では就職支援活動、いろいろな学生への支援を行っており、卒業後入会されるより、在学中の 1 年生で入会されることが得策であることも説明しました。

この新入生は、5月10日の「先輩は語る」講演会にも出席され、マスク着用なしで明るい笑顔が見られました。この時に学生自主活動の FORTEK と六甲おろしチームに支援金を贈呈しました。

この秋には、神戸大学ホームカミングデイと六甲祭が通常の状態で開催される予定です。

機械クラブ活動は、会員を縦と横の糸で結ぶ拠点であり、人間の付き合いを深めるもので社会貢献にもつながります。このことにより自己を振り返り人間力を高めますので是非機械クラブ活動の執行部（部会員）に参画して頂きたいと思います。会員の皆様には、ご理解を頂きながら機械クラブ活動へのご参加とともに次のお願いを申し上げます。

⑴ 機械クラブ行事への積極参加

⑵ 行事運営を担う部会員への参画
徐々に高齢化しているので、若手会員の積極的な参画をお願いします。希望される場合、会長若しくは部会員へご気軽に声をお掛け下さい。

⑶ 会費納入及びご寄付のお願い
機械クラブ会計は、繰越金が漸次減少しており、母校への支援を継続するには、支援金を含め事業経費を支える年会費（2,000 円）とご寄付が必要です。是非納入をお願いします。

⑷ 会員情報の連絡
連絡先メールアドレス、住所変更等の場合、機械クラブ（ktcm@ktcm-kobe.com）へ連絡をお願いします。この情報は KTC と共有しています。

⑸ 連絡の徹底
クラス会、研究室並びに企業代表の皆様は、ご面倒ですが、機械クラブからの連絡を伝達するようお願いいたします。

「機械クラブ」は、神戸高等工業学校1期生が名付けた歴史のある同窓会組織で、本年には活動を開始して98年が経過します。今後も機械クラブの活性化に取り組む所存ですので、皆様のご理解・ご協力並びにご支援をお願いいたします。

文責; M㉑玉屋　登

◆　機械工学専攻の近況

機械工学専攻長　横小路　泰義

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されたことに伴い、本学でも令和5年5月8日から「新型コロナウイルス感染拡大防止のための神戸大学の活動制限指針」の全項目がレベル 0（＝通常）になりました。キャンパスは活気あふれる状態に戻ってはいますが、コロナ禍で受けた影響は様々な形でしばらく尾を引くと思います。それを跳ねのけるべく学生諸君には楽しくのびのびと学生生活を送って欲しいものです。

機械工学専攻の現在の体制を紹介致します。2022 年度末にシステム設計講座 白瀬敬一先生が定年退職（早期）されました。学内では、先端機能創成学講座 池尾直子先生が准教授に昇任されました。また、先端機能創成学講座に本間浩章准教授が着任されました。またこの 4 月に新設されました医学研究科医療創成工学専攻の教員 3 名が、当専攻にも配置されています。現在の構成表を p. 3 に示します。

教育研究活動に関しては、創立 100 周年記念工学フォーラムで展示されたポスターを工学研究科のホームページから自由に閲覧いただけるようにいたしました(注)。機械工学専攻を含む各専攻の最近の研究活動状況を是非ご覧ください。また、機械工学科では、令和 6 年度入試から学部一般入試の前期日程と後期日程の定員比率を大幅に変更しました（前期 71 名，後期 30 名）。多様な資質を有する受験生にさらに幅広く受験の機会を提供するためであり、受け入れた学生に対して、卒業時には「基礎力」、「研究力」、「人間力」を兼ね備えた人材となるよう育成するとしています。

今後とも機械工学科／機械工学専攻の教育・研究活動にご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（注）http://www.eng.kobe-u.ac.jp/achievement/2023_05_26_5068.html

◆　2023 年度第 1 回理事会・代表会報告

M㉔　中瀬古　広三郎

開催日時：2023 年 6 月 3 日（土）10:00～12:00
開催場所：工学研究科 多目的会議室＋Zoom のハイブリッド
出席者：21 名（対面 12 名、リモート 9 名）
議事概要：

１．会長挨拶

本日は、お忙しいところ、ご出席頂きありがとうございます。平素は機械クラブ活動にご理解・ご協力並びにご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、コロナ禍は 2020 年 4 月 7 日の緊急事態宣言から 3 年半経過し、本年 5 月 8 日にはコロナ感染症が 2 類から 5 類に変更されインフルエンザと同様な扱いになりました。同時に新型コロナウイルス対応の「神戸大学活動制限指針」は、レベル「1」から「0」になり、「通常」に戻りました。振り返ってみますと、この 3 年半は機械クラブ行事に大きな影響を与え、IT を活用した対面と Zoom の併用、すなわちハイブリッド開催が実現しました。同時に遠方の関東・中部地区の会員も参加する機会が得られ、是非ハイブリッド

◆　機械工学専攻 構成表　（2023 年 4 月 1 日現在）

（機械工学専攻 HP　：　http://www.mech.kobe-u.ac.jp/index.html ）

講　座	教育・研究分野	教　授	准教授	助教・助手	技術職員，事務職員など	
熱流体	先端流体工学（MH-1）	今井 陽介	片岡 武	石田 駿一	芳田 直征	松岡 香江 朝岡 美紀
	混相流工学（MH-2）	冨山 明男	林 公祐	栗本 遼		
	エネルギー変換工学（MH-3）	浅野 等	村川 英樹	杉本 勝美		
材料物理	構造安全評価学（MM-1）	阪上 隆英	塩澤 大輝	小川 裕樹	古宇田 由夫	
	破壊制御学（MM-2）		田川 雅人 田中 拓	横田 久美子		
	構造機能材料学（MM-3）	田中 克志	長谷部 忠司	寺本 武司		
システム設計	機能ロボット学（MA-1）	横小路 泰義	田﨑 勇一 中楯 龍*	永野 光	片山 雷太	
	センシングデバイス学（MA-2）	神野 伊策	肥田 博隆	權 相曉		
	生産工学（MA-3）		西田 勇			
先端機能創成学	ナノ機械システム工学（MI-1）	磯野 吉正 菅野 公二*	本間 浩章	上杉 晃生	中辻 竜也	
	材料設計工学（MI-2）	向井 敏司*	池尾 直子			
工作技術センター		技術職員：大槻 正人．吉田 秀樹，義澤 康男，中辻 秀憲，大和 勇一				

*：医学研究科医療創成工学専攻

開催を継続して欲しいとの声も頂き、コロナ禍を経た現在はハイブリッド開催が定着することになり、機械クラブでもこれに対応する方針です。

今年の3月24日の２０２２年度総会はハイブリッド方式で開催しました。４月７日の新入生１１５名に対するガイダンスにおける機械クラブのご紹介と KTC 入会案内は、対面方式で行われています。本年度の機械クラブ行事では、4月14 日の会員親睦部会活動を行っております。また、5月 10 日の講演会部会活動をハイブリッド方式で行って頂き、国際活動奨励賞の報告を行い、学生自主活動のフォーミュラチーム FORTEK とロボット研究会「六甲おろし」チームには支援金を贈呈しています。関係者の皆様に感謝申し上げます。

機械クラブ活動の活性化は従来から課題になっております。会員が参画する縦と横の糸が結ばれる場が機械クラブであり、やはり横の糸を結ぶ同期同窓会の集まりが基本であります。未だ開催されていない同期の方には、声をかけていただき開催を呼びかけることを是非ともお願いします。

また、会長就任 1 年間を振り返ってみますと新たな課題も分かってきています。3 月 24 日の総会でも述べましたが、6 年前の改訂以降、会則改訂が行われていませんが、会則全般の改訂を本年度検討したいと思います。なお、会則第５条では会長の任期は２年であり、会長推薦委員会で推薦された次期会長候補者の合意を得て、理事会で決定すると規定されています。今回の審議案件でご審議頂きたいと思います。機械クラブの活性化が大きな課題ですので、各部会におかれては、各行事を進めていただきたくよろしくお願いいたします。また、執行部である各部会の世代交代が重要な課題になっております。現在の理事で手伝って頂くならば、大歓迎です。また、未だ執行部に参画されていない会員には、是非参画して頂きたいと思います。さらに、各部会員の方には、知り合いの会員に積極的な勧誘をお願いしたいと思います。なお、活動を支える会費納入と寄附をよろしくお願いいたします。

２．議事

2023 年度各部会推進状況報告

［資料（機械クラブホームページに掲載）にもとづき各部会長／代行者より報告］

(1) 総務・HP　学生の自主活動に対する支援金をフォーミュラとレスキューロボットに贈呈。新入学生に対して機械クラブの紹介と KTC の入会勧誘への説明。機械クラブに関わる情報を KTC のシステムを活用して即時対応の一斉配信を可能とした。

(2) 財務　2023 年 5 月 24 日現在の収入；年会費納入者－複数年既納者 302 名、今年の納入者 55 名で年会費収入 679,000 円。
KTC からの交付金 145,000 円。

(3) 機関誌　機関誌 97 号（2022 年 9 月）の編集「機械クラブだより」第 24 号の編集中

(4) 講演会　「先輩は語る」講演会 5 月 10 日(水)実施。講師：村松　瑛 氏（日立 GE ニュークリアエンジニアリング）（演題：大学の授業内容と設計業務の関わり～授業内容は仕事の役に立つか？～）
同時開催：学生の国際活動報告：古東　達也君、寺本　大葵 君、小川　零 君。卒業生は代行報告のみ。
10 月 28 日に「機械工学先進研究」講演会，12 月 2 日に「若手研究者は今」講演会を開催予定。

(5) 見学会　コロナ禍で中止となっていた見学会を再開できるように見学先を検討・打診中。

(6) 会員親睦　第 185 回（4 月 14 日）東条の森 CC・宇城コースで開催し、16 名参加した。

(7) 座談会　機械技術者生活を語る座談会の復活に向けて検討中。第９回基幹座談会を８月下旬に開催予定。第６回機械技術者生活を語る座談会を１１月上旬に開催予定。

(8) クラブ精密　会員高齢、少人数のため休会。

(9) 東京支部　KTC 東京支部の活動に関して、10 月頃に KTC 東京支部総会を行う計画で、幹事クラブのＣＳクラブと調整中。

３．会長推薦委員会の設置について（玉屋会長）

会長推薦委員会設置について，玉屋会長から説明と提案があり、まだ会長任期が 2 年目であることから本年度は会長推薦委員会の設置は見送ることが全会一致で承認された。

４．機械工学専攻の近況

横小路泰義機械工学専攻長より学科構成、教職員の異動、今春卒業･修了生 の進路状況、エネルギー費の高騰により運営費が圧迫されている事が報告された。

5. KTC の近況（白岡克之理事）

［資料は機械クラブホームページに掲載］

(1) 今年度の社員総会は 2023 年 5 月 26 日楠公会館にて、対面開催された。

(2) 大学への援助金について募集対象を拡大している。学生の海外派遣援助金、海外の大学の学生受け入れ援助、学生の自主活動支援、若手教員への研究プロジェクト支援、優秀学生表彰や学生の海外研修など，2022 年度援助金総額 541 万円、2023 年度援助金予算　580 万円。

(3) 神戸大学創立 120 周年記念募金について、令和 4 年 12 月 25 日、神戸ポートピアホテルで、神戸大学創立 120 周年記念式典が開催された。なお、寄付金の目標額 30 億円(2019 年 12 月～2024 年 3 月末)に対し、同窓会全体へは 16.5 百万円、KTC へは 3.7 百万円の寄付依頼があり、寄付を決め、納付しました。

(4) 工学部 100 周年記念事業に対し、工学部 100 周年記念事業募金における記念事業内容に賛同し、学生を主体とした人材育成のための教育環境整備への支援を行う事を目的に、KTC より神戸大学工学部に寄付を行う。教育環境整備事業として、工学会館を拡張して、セミナールームを建設し活用することを希望・提案した。

(5) 社員総会後の講演会　神戸大学 数理・データサイエンスセンター長 小澤 誠一教授、(株)インプレス編集主幹 田口 潤氏（S⑦）に、DX についての日本の現況、大学教育、産学連携を核にご講演いただき討論会が開催された。

(6) KTC の就職支援　昨年と同様に就職支援を行う予定。「インターンシップ企業合同説明会」を 5 月 30 日に神大六甲ホールで開催。企業参加はオンライン 20 社、対面 17 社、参加学生 158 名。「キャリアセミナー」は zoom によるオンライン方式で開催。ブレイクアウト機能を活用し OB・OG とグループディスカッションを行った。2022 年 10 月～11 月に 13 回業種別に開催した。 参加企業 52 社。「きらりと光る優良企業」は時期を早めて 1 月と 2 月の 2 回実施した。2023 年 1 月 17 日～1 月 19 日（3 日間）、2023 年 2 月 27 日～3 月 2 日（4 日間）開催した。参加企業（対面式 82 社、リモート 59 社、計 141 社）　参加学生（対面式 232 名、リモート 125 名、計 357 名）

◆ 2023 年度「先輩は語る」講演会
併催：機械クラブ国際活動奨励賞報告会，

講演会部会長　浅野　等　M㊱

開催日時：2023 年 5 月 10 日（水）8:50～10:20
開催場所：神戸大学百年記念館 六甲ホール
司　　会：浅野　等 教授

◎「先輩は語る」講演会
講師：村松　瑛　氏
（日立 GE ニュークリア・エナジー(株)）
演題：「大学の授業内容と設計業務の関わり
～授業内容は仕事の役に立つか？～」
略歴：
2014 年 3 月　神戸大学工学部機械工学科卒業
2015 年 9 月　同大学院工学研究科修士課程修了
2018 年 3 月　同大学院工学研究科博士課程修了
2018 年 4 月　日立製作所入社，現在：日立 GE ニュークリア・エナジー

講演内容：

講演の初めに新入生に対して，いろんな人の講演や意見を聞いて，すべてを鵜呑みにするのではなく，自分の好みに組み合わせるのがいいと思うということを伝えられた．そのうちそれが自分の意見・個性になるということが伝えられた．次に簡単に自身のご略歴がご紹介された．大学院での研究は，熱流体系研究室に所属して，超音波流量計に関する研究を行っていたことが紹介された．

次に，学生時代にやった方がいいこと，自分が学生時代にやってきたことを中心にご説明された．大学入学時に工学部機械工学科を選んだ理由をご説明いただいた．特に強く望んで機械工学科を選んだわけではなかったが，入学後に博士課程まで進んでみたいという気持ちがあったことをご説明いただいた．今振り返ってみると，初めから選択肢を狭くしなかったことがよかったというご説明があった．知識欲があったため，図書館にこもって興味のある本を読んでいたとのことだった．図書館には，教科書だけでなく，面白い本がたくさんあるのでぜひ利用してほしいことが伝えられた．講義はタイトルに興味があるものや，先生が面白そう，などいろいろな理由から選択して取得したとの説明があった．興味がある講義は積極的に受講することがすすめられた．卒業要件ギリギリを目指して講義単位を取るのは勿体ないということが伝えられた．一方で，勉学だけでなくクラブ活動にも参加していたことがご紹介された．体育会サイクリング部に所属して，3 年間所属したとのことだった．貴重な経験を積めたことが，社会人生活にも役立っていることがご説明された．講義の単位を取得するだけの大学生活ではなく，サークル，海外旅行，海外留学など大学生にしかできない経験をしてほしいとのことだった．自分が楽しいと思えることを大学生の間に継続的に取り組んだことを何か持っておくことが大事とのことだった．

次に，4 年生からの研究室配属後の生活についてご説明いただいた．電力・エネルギーに興味を持っていたことや，講義がわかりやすかった先生だったとの理由からエネルギー変換工学研究分野を選んだとのご説明があった．研究テーマで対象としていた流量計のご説明をいただき，流量を高精度

に測定するための研究開発をしていたことがご紹介された．超音波流量計とは，超音波のドップラー効果を用いた技術であることがご説明され，その測定原理をご説明いただいた．修士課程のときにフランスで開催された国際会議にて発表したことがご紹介された．当時は英語が流暢に話せるわけではなかったが，英語で発表することの重要性を感じることができたとのことだった．英語は勉強するのは大事だが，英語で話す経験を多く積んでおくのがよいとのことだった．研究テーマは，「超音波流量計の高精度化」に取り組んだが，当時は志望するテーマを持たずに研究室を選択したが，配属時にはやりたいテーマをもっておくのがよいということが伝えられた．研究室紹介や先輩から情報を得るなどをした方がよいとのご説明があった．

次に博士課程に進学を決めた理由と，進学を決断する際に思っていたことをご説明いただいた．当時は，博士課程に進学して，無事に修了できるかという不安や，修了後に就職先があるのかという不安があったが，修了できるかどうかは自分次第だし，工学系の博士課程で就職に困ることはないとのことから，進学を決意したとのことだった．また，博士課程進学にあたって準備すべきことを自身の経験から伝えらえた．一番は，自分がその研究テーマに興味があることが大事とのことだった．

最後に，社会人で現在担当している業務について簡単にご紹介いただいた．現在は，原子力プラントの配管系の耐震設計をしているとのことだった．プラント 1 つあたりに配管が総長で 100km 程度あり，それらすべての安全性を担保した設計をしているとのことだった．その業務では，計算力学や，振動学，材料力学など幅広い知識が要求され，それらは大学で学んだ内容が直結していることがご説明された．最後に新入生に対して，有意義な大学生活を送ってほしいとの思いが伝えられた．

◎　機械クラブ国際活動奨励賞報告会

2022 年度受賞者（所属学年は受賞当時）

古東　達也　君(大学院博士課程後期課程１年)
寺本　大葵　君(大学院博士課程前期課程１年)
小川　零　　君(大学院博士課程前期課程１年)
金岡　拓馬　君(大学院博士課程前期課程２年)
五十嵐　優　君(大学院博士課程前期課程２年)
山下　誠希　君(大学院博士課程前期課程２年)

報告内容：

「先輩は語る講演会」とともに機械クラブ国際活動奨励賞報告会を併催した．まず，古東君，寺本君，小川君から参加した学会の様子や，学会にて発表した研究内容の紹介が行われた．　金岡君，五十嵐君については，当日参加できなかったため，預かった資料の紹介を浅野教授から行われた．　いずれの報告でも，国際会議の雰囲気を伝えるための工夫があり，また，学部・修士と努力することにより 国際会議での発表のチャンスをつかめる，という点が強調されていた．　学生生活を楽しみながら，弛まぬ努力を，という先輩学生からのメッセージであった．

◎　学生自主活動支援金贈呈

最後に学生自主活動支援金の贈呈を行った。機械クラブ 玉屋会長から学生フォーミュラチーム（FORTEK）およびレスキューロボットチーム（六甲おろし）に対して、支援金を贈呈した。

◆　機械クラブ役員懇親会報告

2022 年度機械クラブ総会(2023 年 3 月 24 日(金))の承認を得て 2023 年度には新しい執行部体制になりました。世代交代も含め大幅な役員交代が行われたため、お互いの顔合わせを趣旨として「役員懇親会」(2023 年 5 月 12 日(金)，阪急六甲駅前「愛蓮」)を開催しました。新旧役員を含む 12 名が出席されました。大先輩の井上理文様(第 10 代会長;1998～2001 年度)も出席され、91 歳にもかかわらず元気なお話も頂きました。各自の自己紹介、井上先輩の「会員増強いろいろ」資料や「機械クラブだより」創刊号資料も紹介され、いろいろな話題で親交を深めました。

井上理文様(左写真)
(令和３年度神戸大学工学功労賞授賞式の写真，KTC 機関誌№94 から（途中退席のため写真を別掲）)

後列左から(敬称略)　岩出知之(新会員親睦部会長)、横小路泰義(新特別会員代表)、谷民雄(前総務部会長)、浅野等(新学内幹事、新講演会部会長、前機関誌部会長)、西田勇(新機関誌部会長)、山岡高士、林公佑、尾野守//前列左から　舟橋公廣(新監事)、冨田佳宏、玉屋登

機械クラブ役員懇親会集合写真

◆　機械クラブゴルフ同好会 (KTCMG)報告

Ⅰ．第 184 回コンペ報告

2022 年はコロナ禍 3 年目の夏に親睦を深める 7 月のコンペ終了後、8 月には一日に 25 万人もの感染者が発生する時期もあり深刻度が懸念されておりましたがその後下降傾向を示したことで第 184 回のゴルフコンペが無事開催することが出来ました。

また天候が不安定な日も多かったのですが開催当日は10月中旬には珍しく汗ばむような夏日になり快適なゴルフプレーを会員各位と楽しむことが出来ました。

今後も引き続きより多くの会員の皆様とこの会を盛り上げると共に会員の増員に励んでいきたいと思います。

結果概要

開催日：2022 年 10 月 14 日

場　所：東条の森ゴルフクラブ　東条コース

参加者：finisher 12 名

➢　上位入賞者の成績

順位	氏名	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	長谷川　圭	85	14	71	10
2 位	高橋　久雄	98	25	73	21
3 位	平尾　雅男	97	23	74	21

参加者のコメント

・優勝／長谷川　圭　氏:好天と会員のメンバーに恵まれて楽しく Play でき優勝もすることができました。今後もこのコンペに参加させて頂きこの会の皆勤賞連続記録を作りたいと考えながら今後も頑張っていきます！

（後列左から）平尾雅男、谷民雄、高橋久雄、中谷彰宏、長谷川圭、中瀬古広三郎
（前列左から）植田敏明、市橋誠、大和敏郎、西下俊明、柄谷祐司

第 184 回ゴルフコンペ集合写真

Ⅱ．第 185 回コンペ報告

2023 年の春を迎え、いよいよコロナ感染対策の緩和が実施されたその時期に　本年度最初の機械クラブゴルフ親睦会を開催することができました。

当日は素晴らしい好天に恵まれて 16 名もの参加者と共に親睦を深めることができました。

自由に太陽の下で芝生の上でプレイしながら機械クラブ会員の皆様方との交流を図れる　良い機会に更なる参加者をお誘いできるように皆様と頑張りたいと思っています。

また國光様が担当されて参りました親睦会部会長に本年度から新しく M36 回生の岩出様が 親睦部会長としてこの KTCMG の幹事を引き継がれる事となり更なる会の発展が期待されるところです。

結果概要

開催日：2023 年 4 月 14 日

場　所：東条の森ゴルフクラブ　宇城コース

参加者：finisher 16 名

➢　上位入賞者の成績

順位	氏名	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	長谷川　圭	83	10	73	8
2 位	重近　實	86	11	75	9
3 位	高橋　久雄	97	21	76	19

参加者のコメント

・優勝／長谷川　圭　氏:前回の優勝に引き続き連覇を達成することができました。　前回の 優勝コメントでも申し上げましたがこの様な親睦会にて皆勤賞の記録を作りたいと 考えていますので頑張って参加していきたいと考えております。

・次期親睦会長／岩出　知之　氏:機械クラブの重要な役職と知り緊張しますが　今後益々部会が発展出来ますように頑張って参ります。

（後列左から）菅野俊、中瀬古広三郎、長谷川圭、岩出知之、柄谷祐司、山路洋行、吉川彰、國光秀昭
（前列左から）西下俊明、光田芳弘、大和敏郎、市橋誠、重近實、谷民雄、高橋久雄

第 185 回ゴルフコンペ集合写真

・第 186 回:7 月 14 日(実施済)

Ⅲ．今後の予定

・第 187 回:10 月 13 日

【機械クラブだより　第 24 号】

発行所：神戸大学機械クラブ
発行人：会長　玉屋　登
発行日：2023 年 9 月 1 日
所在地：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
神戸大学大学院工学研究科
機械工学専攻事務室内
Tel :　078-803-6152
E-mail : ktcm@ktcm-kobe.com
URL :　http://ktcm-kobe.com/